

令和8年度 第1回学校運営協議会 報告

1 日時

令和8年4月23日(木) 午後1時30分から3時30分まで

2 場所

静岡県立浜松東高等学校 第一応接室

3 出席者

(1) 委員

清水猶 (浜松市社会福祉協議会 副会長、生活支援だるま会 会長)

山下智之 (浜松市内協働センター講座講師 郷土史家)

川口裕之 (笠井地区自治会連合会 会長)

伊藤麻希 (静岡産業大学スポーツ科学部 准教授)

江間正章 (株江間種苗園 代表取締役)

堤千秋 (静岡県立浜松東高等学校 同窓会役員(会計))

山本早織 (静岡県立浜松東高等学校 P T A会長)

(2) 学校関係

鈴木真一 (校長)、藤井建樹 (副校長)、長谷川竜一 (教頭)、澤木孝 (事務長)、山崎大介 (教務主任)、井口仁美 (生徒指導主事)、内田朱美 (進路指導主事)

4 次第

(1) 校長挨拶

(2) 自己紹介 (全員)

(3) 校内見学 (授業見学)

(4) 学校運営協議会委員委嘱及び依頼事項の説明 (校長)

(5) 令和7年度学校関係者評価について (副校長・教頭)

(6) 令和8年度学校経営計画についての説明 (校長)

(7) 学校の現状報告及び質疑応答 (教務課・生徒課・進路指導課)

(8) 意見交換 (学校運営協議会委員)

(9) その他連絡事項

5 学校の現状報告及び質疑応答・意見交換

(1) 教務課

<本校>昨年度に比べ、本年度4月は欠席者も比較的少なくスタートできている。学校行事、修学旅行は令和8年度も予定通り実施する予定。

<委員>欠席の主な理由は何か。

<本校>登校したくてもできない生徒がいる。一人の生徒が多く欠席する傾向がある。

<委員>出欠の確認方法は昨年度から変わったか。

<委員>Cラーニング（アプリ）を使用している。連絡がない生徒の欠席を担当が確認しだいCラーニングで保護者と連絡を取るようになっている。

<委員>新学期は生徒が不安定。登校できない生徒のケアに努めてもらいたい。

<委員>欠席連絡がない生徒について、保護者と連絡を取るまでの時間はどのくらいか。

<本校>10分から20分程度ではとれていると思う。

(2) 生徒課

<本校>交通違反が課題。本校は自転車通学が93.5%。昨年度は郊外店舗等でのマナー違反もあった。右側通行なども見られるので、指導に努める。本年度は今日現在、交通事故数は0件。

<委員>青切符制度で生徒たちに混乱はないか。

<本校>今のところは混乱はみられない。

<委員>生徒に自転車の乗車ルールをきちんと周知してほしい。

<委員>ルールを覚えても実際の標識は高校生にとって身近ではない。生徒は標識や一方通行などがわからない道路がある。歩道の走行なども交通ルールはどうなっているのか、私たちでも理解が難しい。また、テニス部がラケットを自転車の側面に挟んで運転している姿が危険にみえるがいかがか。

<本校>部活動の荷物の件は、部活動顧問と確認して事故防止に努める。

<本校>SNS関係の生徒指導も多く、課題である。

<本校>本年度から部活動任意加入で新入生の加入率は85%。入らない生徒は外部団体に加入したりしている。部活動未加入がよくないという認識ではない。また、部活動をはじめ、学校での活動の様子はSNS（インスタグラム等）を用いて積極的に広報していく。

<委員>新入生が白い靴下を履いていた。校則では黒か紺色ではないか。生徒に意識の変化か。

<本校>校則では黒か紺色のみ指定。白色靴下をはく生徒は、少数だがいる。本校の制服はもともと紺のハイソックスを前提としたデザインなので、デザイントータルコーディネート的に黒か紺色がのぞましいという指導をしていく。

(3) 進路指導課

- <本校> 県内求人は好調であるが求人数は減った。求人も企業の求める姿に変化がみられる。就職希望者には、基本的な生活習慣の確立などを目指して指導していく。
- <本校> 進学は地元思考の傾向が強く、総合型・推薦入試の受験者が多い。一方で、年明け最後まで、志望校に向けて頑張る生徒の姿も見られた。早い段階から進路意識を高めて進路に向かえるよう指導を計画している
- <委員> 高校も大学も、入試がどんどん早くなっていく。その傾向の中で、早く決まった生徒の雰囲気はまだ決まっていない生徒へ悪い影響を与えることはないか。大学でも進路が早く決まることについて、色々な考え方がある。
- <本校> 就職は10月には決まる。進路が決定した生徒への指導は課題だと考えている。大学は推薦入試後の課題等を出してくれるので、おかげさまで生徒のモチベーションは保たれていると感じる。入学後のことも考えて、学習をする意欲を保つよう指導している。
- <委員> 普通科、商業科の両科に進学、就職希望者がいるのか。
- <本校> そのとおり。進路決定後の指導については両科で課題である。